



代表取締役 奥村 靖

遠隔地配信・画面共有・商用利用可能で低コスト 新発想デジタルサイネージ配信管理サービスを提供

概要

移動型タッチパネル表示装置（縦横衝撃緩衝機構付）と、複数事業者対応コンテンツ配信システムを開発

本事業への取り組みの経緯

液晶モニター、LEDディスプレイ、液晶プロジェクター等の表示機器を使って情報を発信する「デジタルサイネージ」は、デジタルネットワークの普及に伴い、新しい広告コンテンツとして、年々市場規模が拡大している。しかし、新たな広告メディアとして注目される一方で、ディスプレイの設置や配信システムの利用など、導入・運営にかかる費用は高額で、小規模事業者等には採用が困難であるという課題があった。

そこで本事業では、管理者である1事業者が複

数箇所のサイネージモニターにコンテンツを流す従来のシステムから、WEBシステムにより、複数の利用者が遠隔地から日時を指定して表示画面を共有することで安価にデジタルサイネージを利用できる、クラウド型のシェアサイネージシステムの構築を目指した。また並行して、それまで手掛けていたトレーラーハウス開発の実績を生かし、トレーラーにタッチパネル式のデジタルサイネージ画面を取り付けた移動型屋外サイネージ（マルチユースキャビントレーラー）を開発し、映像配信の新たな活用シーン拡大を図ることとした。

事業概要

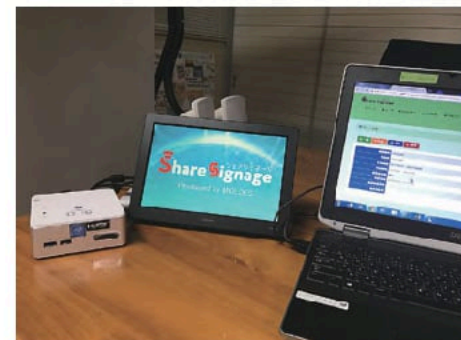
本事業は、WEB管理システムを採用することによって、遠隔地からのPC操作でコンテンツの配信や差し替え作業が行える、クラウド型サイネージ管理サービス（シェアサイネージ）を開発。IT技術を活用した双方向の新しいサービスを提供する仕組みを構築した。また、小規模事業者も簡単・手軽で始められることをコンセプトに、管理シス



遠隔地の表示装置に複数のユーザーが希望日時に映像を予約配信可能



WEBシステムで、クラウドサーバーに上げた放映スケジュールとコンテンツ（画像、動画、URL）情報をディスプレイ側のミニPCが受信



遠隔地映像配信 クラウド型サイネージ管理サービス「シェアサイネージ」

テムの機能を絞り込み、業界最安値を目指した。

さらに移動走行時の揺れに耐えうるモニター緩衝機構を開発し、トレーラーに組み付けた移動式の屋外サイネージとして、野外イベント会場や店舗の駐車場、電源確保が難しい場所等でも、動画広告の映像配信を可能に。映像表示部は、液晶プロジェクターやLEDディスプレイに加えて、タッチパネル式液晶モニターを採用した。



緩衝機構付モニター取り付け部（トレーラーに組み付け）

事業成果

シェアサイネージは、クラウド型のため導入環境を気にすることなく、契約後すぐに利用が可能で、従来のインストール型と比べても、初期投資の軽減や作業時間の短縮を実現。また、1ライセンスで複数のアカウントを任意で設けることができ、複数事業者による団体利用や1事業者内の分散管理、配信システムによる商用利用など、幅広



イベントで活用されるマルチユースキャビントレーラー

いデジタルサイネージの活用を低コストで可能にした。

トレーラー壁面にモニターを取り付けることで、移動が可能となり場所を選ぶことなく屋外での映像配信が可能に。表示部をタッチパネル方式とし、操作の利便性を備えたことで、双方向の情報共有・交換ができるシステムを構築できた。

事業の活用状況（補助事業実施後の取り組み）

本事業終了後、ディスプレイや液晶プロジェクター等を解像度・縦横配置に応じ、「左右分割表示」や「上下分割表示」を可能にする画面表示形態を付加。また、空き時間帯にオーナー（表示装置所有者）がコンテンツを入稿管理できる機能を加え、システム修正を実施した。すでに「左右分割表示」の機能が完成し、エンドユーザーによるテスト運用を開始している。

さらに窓の内側に透過フィルムを設置し、プロジェクターで映像を投影する窓ガラスサイネージの提供技術を構築し、窓枠に合わせて画面を左右に分割するなどの工夫を加えた、新たな展開も生れている。



店舗等の窓やショーウィンドウに映像広告を投影できる「窓ガラスサイネージ」